

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 日本特殊塗料株式会社

コード番号 4619

URL <http://www.nttoryo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 酒井 万喜夫

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務
業務本部長

(氏名) 田谷 純

(TEL) 03-3913-6134

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	41,588	20.7	2,300	6.0	4,268	△11.0	2,901	△15.8
29年3月期第3四半期	34,454	8.2	2,170	14.5	4,793	23.6	3,445	13.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,617百万円(77.2%) 29年3月期第3四半期 2,605百万円(△5.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	131.24	—
29年3月期第3四半期	155.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	77,459	43,173	51.6
29年3月期	66,987	39,539	54.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 39,996百万円 29年3月期 36,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
30年3月期	—	14.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	18.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	55,200	15.0	3,200	1.2	5,800	△14.0	3,800	△20.5	171.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	23,611,200株	29年3月期	23,611,200株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,501,868株	29年3月期	1,500,767株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	22,109,881株	29年3月期3Q	22,100,584株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や堅調な雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調を維持しております。一方、世界経済は、米国を中心に堅調さを維持しているものの、北朝鮮問題などの地政学リスクは高いレベルで継続しており、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、国内、海外ともに受注が堅調に推移したことで415億8千8百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

損益面につきましては、売上増収に対応し生産性の向上に努めましたが、原材料価格の高騰、新規部品生産立上げ費用や固定費の増加により営業利益は23億円（前年同期比6.0%増）、経常利益は42億6千8百万円（前年同期比11.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億1百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

なお、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、主に持分法による投資利益が前期比で減少すること（前期は米国関連会社における固定資産売却益9億6千万円を計上）等により、前年同期を下回っております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 塗料関連事業

当セグメントの業績につきましては、売上高は工事関連売上等が堅調に推移したことで前年同期を上回りましたが、セグメント利益は原材料価格の高騰、固定費増加により前年同期を下回りました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料のうち、床用塗料が新規顧客の確保、拡販等により売上増に貢献し、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事についても、工事契約物件の増加、工事進捗度合いにより前年同期比28.9%増と大きく伸張しました。

この結果、当セグメントの売上高は118億2千3百万円（前年同期比6.6%増）、セグメント利益は3億5千6百万円（前年同期比29.1%減）となりました。

② 自動車製品関連事業

当セグメントの業績につきましては、売上高は国内外での受注増加により前年同期を大きく上回りましたが、新規部品生産立上げ費用や固定費の増加など売上原価の高止まりでセグメント利益率は低下しました。

品種別売上高につきましては、主力製品の吸・遮音材が新規部品受注増加により前年同期比44.2%増と大きく伸張するとともに、防錆塗料、制振材、原材料輸出等のその他売上也前年同期比で増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は297億5千5百万円（前年同期比27.4%増）、セグメント利益は19億3千9百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

③ その他

保険代理業の売上高は9百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ104億7千2百万円増加し774億5千9百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加28億6千4百万円、有形固定資産の増加53億6千5百万円、投資有価証券の増加24億5千9百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ68億3千8百万円増加し、342億8千6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加20億5百万円、短期借入金の増加7億7千7百万円、流動負債のその他の増加21億6千8百万円、長期借入金の増加14億6百万円、固定負債の繰延税金負債の増加7億2千4百万円によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ36億3千4百万円増加し、431億7千3百万円となりました。主な要因は、資本剰余金の減少1億2千5百万円、利益剰余金の増加21億9千1百万円、その他有価証券評価差額金の増加13億1千7百万円、為替換算調整勘定の減少2億1千3百万円、非支配株主持分の増加4億円によるものです。この結果、自己資本比率は3.3%減少し51.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、この業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の根拠に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,572	7,833
受取手形及び売掛金	13,642	16,507
商品及び製品	1,502	1,610
仕掛品	578	666
原材料及び貯蔵品	1,061	1,181
繰延税金資産	401	402
その他	1,064	475
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	26,815	28,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,832	7,677
機械装置及び運搬具(純額)	5,992	6,922
土地	4,292	4,656
建設仮勘定	1,907	2,982
その他(純額)	1,875	2,026
有形固定資産合計	18,899	24,265
無形固定資産		
その他	1,053	1,166
無形固定資産合計	1,053	1,166
投資その他の資産		
投資有価証券	18,385	20,844
長期貸付金	268	345
繰延税金資産	68	70
その他	1,525	2,130
貸倒引当金	△28	△32
投資その他の資産合計	20,218	23,357
固定資産合計	40,171	48,789
資産合計	66,987	77,459

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,292	12,297
短期借入金	2,748	3,525
リース債務	113	63
未払法人税等	322	297
役員賞与引当金	80	-
その他	4,219	6,387
流動負債合計	17,776	22,571
固定負債		
長期借入金	3,946	5,353
リース債務	231	189
退職給付に係る負債	4,230	4,183
繰延税金負債	1,222	1,947
その他	40	40
固定負債合計	9,671	11,714
負債合計	27,447	34,286
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,362	4,237
利益剰余金	22,853	25,045
自己株式	△497	△499
株主資本合計	31,472	33,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,037	6,354
為替換算調整勘定	428	215
退職給付に係る調整累計額	△175	△109
その他の包括利益累計額合計	5,290	6,460
非支配株主持分	2,775	3,176
純資産合計	39,539	43,173
負債純資産合計	66,987	77,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	34,454	41,588
売上原価	26,374	32,548
売上総利益	8,080	9,040
販売費及び一般管理費	5,909	6,739
営業利益	2,170	2,300
営業外収益		
受取利息	30	33
受取配当金	169	188
持分法による投資利益	2,513	1,683
その他	70	157
営業外収益合計	2,783	2,062
営業外費用		
支払利息	65	81
為替差損	75	-
その他	18	13
営業外費用合計	160	95
経常利益	4,793	4,268
特別利益		
固定資産売却益	-	0
受取保険金	0	5
投資有価証券売却益	88	101
特別利益合計	88	107
特別損失		
固定資産処分損	111	147
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	111	147
税金等調整前四半期純利益	4,771	4,228
法人税等	943	766
四半期純利益	3,827	3,461
非支配株主に帰属する四半期純利益	382	559
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,445	2,901

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,827	3,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	591	1,301
為替換算調整勘定	△522	△21
退職給付に係る調整額	70	65
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,361	△189
その他の包括利益合計	△1,222	1,155
四半期包括利益	2,605	4,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,480	4,071
非支配株主に係る四半期包括利益	124	546

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,090	23,353	34,444	10	34,454	—	34,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	11,093	23,353	34,446	10	34,457	△2	34,454
セグメント利益	503	1,661	2,165	5	2,170	—	2,170

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	塗料関連	自動車 製品関連	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,823	29,755	41,578	9	41,588	—	41,588
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	2	—	2	△2	—
計	11,826	29,755	41,581	9	41,591	△2	41,588
セグメント利益	356	1,939	2,296	4	2,300	—	2,300

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業であります。

2 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。